

スローライフだより 62

~Think globally, act locally~

第62号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1
TEL/FAX 0985-62-4233
<http://www.slow-life.or.jp>



行事報告

1月	26日	プロスポーツ選手春季キャンプ前の生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
2月	1日	プロスポーツ選手春季キャンプ開始（生目の杜運動公園）
4月	8日	令和2年度 第1回三役会



開催中止のお知らせ



今年度は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、会員の皆様の健康と安全を最優先に考え下記の行事を中止と致します。

記

*第17回 スローライフ宮崎通常総会

総会は書面議決と致します。会員の皆様には別途総会資料と書面表決書を郵送致します。

*生目小学校生き生き学習田植え

苗は機械で植えます。（機械植え時も参加は不要です）

稲刈り（9月中旬頃）に関しては新型コロナウイルスの感染状況等を鑑みて、生目小学校と協議の上、5年生の生徒さんと一緒に稲刈りができるかどうかを判断する予定です。



山桜の小さき物語と里桜の大きな物語



森本 雍子

今年も小さな庭の山桜が蕾をつけた。三月四日に蕾二輪、翌日は七～八輪と数をかぞえるのが年中行事となったのである。

夫が自宅から車で、十分ほどのシーガイア入り口あたりに一坪農園を借りて、ネギ、白菜、チンゲンサイ、京水菜、キャベツ、ほうれん草、小松菜、春菊などの軟弱野菜、など朝夕の献立に用いる日常の品々は太いに重宝したのであった。あるとき「農園に鳥の糞によって芽が出ているよ」だった。軽く聞き流していたのだが「どうも桜の木みたいだ」と言うのであった。こちらにも興味が出てきて「今何センチくらい？」という有様である。「鳥がサクランボでも食べたのだろう」ということで暫く情報はなかったのである。

十年ほど前の十二月だったか「ほら、これが山桜の苗木だ」と持ち帰ってきた。小さな庭の片隅に植えてくれた。「桜の花が好きな人だからな」だった。これまで誕生日などになにかを貰ったことがなかったので、珍しい事もある・・・と嬉しかった。小さな庭のささやかな慶事であった。今年は五十輪ほど満開した。大阪の紗恵ちゃん（孫の妻）に写真を撮りラインで「庭の山桜が満開です」と送ったら「ステキですね」と喜んでくれた。

昨年四月初め垂水公園に久しぶりに娘に連れて行ってもらったのである。車の免許証を返納してから思う所へ行けないでいる。公園の桜は3500本もあるからだろうか、盛りは過ぎたのにお花見気分には十分だった。

ふと、宮崎市地域婦人会連絡協議会で出会った齊藤久美子さんの事を思い出したのであった。その頃は婦人会の活動によって行政は支えられていたように思う。婦人会は大勢の会員で賑わっていた。宮崎市の会長は上村智恵子さん。各地域に会長がいて神宮東地区は齊藤久美子さんだった。

その齊藤久美子さんのお父上が書かれた「垂水公園桜の由来記」なるものをお預かりしていたことを思い出していた。まずは初めの一行からしたためてみる。

大師の靈杖一度ふるれば即ち清水滾々として垂る（ダルミズ）名之より起こる。垂水お大師の由来である。四囲すべて深水雲海は濃又は淡、この世のひとつものとも思われぬ。筆者はこの仙境が無性にすぎで・・・（以下略）大正十年頃この仙境に忽然として一草庵が結ばれた。その庵主と懇意になり、ある日の茶話に「ここを一つ桜の名所に仕立てて見ようじゃないか」と医師金丸重平はこの庵主吉田熊之丞に持ちかけてみた。大正十年の暮れであった。無論、相手は賛同した。金丸重平氏は吉田熊之丞氏と共に、苗木入手の研究にとりかかる。幸い近くで牧辰次氏（宮交牧誠氏の実父）が牧農園を経営しておられたので、その計画を話したところ、吉野の本場ものを原価でサービスしてもらっている。大正十年、三尺苗一本十銭であった。先ず五百本を植えることにした。代金五十円は金丸氏が立替え早速、苗木を取り寄せた。（原文のまま）

こうした内容の事は、要約したのが垂水公園の看板に書かれている。今でも垂水公園の管理は地元の人々も関わっているようである。行政と民間の人々に見守られている里桜は見事に毎年市民に愛されている。本年は桜祭りは見送られているが、素晴らしい花を咲かせる事には変わらない。

鉄砲打ちの医者どんと呼ばれた金子重平氏は垂水公園を散策され、自然を愛し、子供を愛し、せっせと桜の苗木を植えられた。長女の久美子さんは看護師として父上が逝かれるまで支えた。重平氏昭和五十二年卒寿を全うされた。 合掌





生目の杜運動公園周辺のボランティア清掃



2月はプロスポーツ選手が生目の杜運動公園で春季キャンプを行います。生目の杜運動公園にお越し下さる方々が気持ちよく過ごして頂けるように心をこめて1月26日に清掃活動を行いました。

総勢29名での清掃活動になりました。



生目の杜運動公園アイビススタジアムスタンド清掃



福岡ソフトバンクホークスのキャンプ期間中及び球春みやざきベースボールゲームズ開催期間中にアイビススタジアムのスタンド清掃の委託がありましたので、練習や試合が終わった午後4時頃から清掃を行いました。

スタンドの椅子を拭いたり、ゴミの収集などを行います。



生目の杜運動公園円形花壇植栽



プロスポーツ選手の春季キャンプ期間中に来場された方々にも喜んで頂いた花壇ですが、次の植え替え時期まで、きれいな花壇であるように、引き続き除草などしっかり管理して頂いています。

南駐車場出入り口（柏原側）の花壇には菜種を植えていましたが、3月中旬には菜種を撤去して、なでしこ・ノースポール等を植栽しました。



生き生き市民農園

4月の第1～3農園の様子です。昨年度は諸事情により農園の利用をやめられる方が数名いらっしゃいましたが、新しく農園を始められる方も数名ありましたので、また皆さんで楽しい農園をつくって頂ける事と思います。



生き生き市民農園の利用者募集中です！！

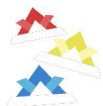
第1と第3市民農園に若干の空きがあります。

詳細は事務局までお問い合わせください。

(事務局・・・62-4233 長谷川理事長・・・090-3737-9917)



4月～7月の予定



5月 上旬
5月 中旬

生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
令和2年度第1回役員会



委託業務関係

5月～7月

毎月第1火曜日

毎月第2火曜日

※ 駐 車 場

※ 花 壇 管 理

駐車場料金徴収員会議

花壇管理者会議

土、日、祝日、キャンプ期間中

随 時

スローライフ事務局

スローライフ事務局

駐車場料金収納・送迎車両誘導

(10:00～18:00)



お便り大募集！ 63号(7月発行予定)、64号(10月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



今年の1月末に、中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、またたく間に、東アジア、ヨーロッパ、アメリカそして世界の国々へと感染を広げています。4月7日には緊急事態宣言も発出され、患者数も日々倍々のおどろくような増加、勢いぶりです。医療崩壊の懸念さえも叫ばれはじめ、出口の見えない永い戦いになろうとしています。

卒業式や入学式は縮小され、春の高校選抜野球をはじめ、スポーツ、文化面のイベントはほとんど全て中止となり、期待はずれの重苦しい雰囲気の間もとちがった春になりました。

平穏な日常を早くとりもどすために過度な心配はせず密閉、密集、密接の3密をさけ、まずは一番大事な自分自身を猛威を振るうウイルスから守り、人類の英知を信じ、早急なワクチン 特効薬の開発を期待し待つ以外、私達には策がありません。

そういう中、UMKアクサレディースゴルフ大会に例年美しい花々を提供し、宮崎を全国にアピールしている私達の会員一人である松田園芸さんが、しずみきった雰囲気を打開するため “スローライフだより 62号” の表紙のような花文字で “日本がんばろう” と国道10号線の通行人に訴えています。

2005年(平成17年)9月6日の大水害(4号)、2010年(平成22年)の口蹄疫(23号)の時と同じように私達に希望と勇気と元気を与えてくれる松田さんに、心から深い敬意を表したいと思います。

(長谷川)